



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



新病院の完成予想図

### 第20号

### 目次

平成20年度の目標について	1
<b>就任挨拶</b>	
夢の実現に向かって	2
就任のごあいさつ	
<b>地域医療連携</b>	
病診連携施設紹介	3
地域医療連携室から	4
検討会・研究会の開催	
<b>お知らせコーナー</b>	
認定看護師による公開講座のお知らせ	5
敷地内全面禁煙	
<b>新病院建築状況</b>	6
平成20年度診療報酬改定について	

<b>新採用職員オリエンテーション</b>	7
<b>職場紹介</b> — リウマチ膠原病科	8
<b>行事紹介</b>	
クリティカルパス大会について	8
看護学校卒業式/病理解剖慰霊祭	9
患者数の動向/編集後記	10
外来担当医表	11

発行 月：平成20年4月  
 発行 行：独立行政法人国立病院機構  
           横浜医療センター 広報委員会  
 発行責任者：高橋 俊毅  
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電話：045-851-2621  
 FAX：045-851-3902  
 URL：<http://www.hosp.go.jp/~yokoham/>

# 平成20年度の目標について

病院長 高橋 俊毅

財務状況の悪化から近年、医療費の抑制が一段と進み、われわれ医療界を取り巻く環境は一段と厳しくなってきました。さらに先の初期研修医制度の改訂などの要因が重なり、医師の確保が困難となり、勤務医が労働条件の悪化に耐えかねて「立ち去り型サボタージュ」といわれる病院医療から退去してきています。地方でも都市でも小児医療や産科医療からの撤退が相次ぎ、「たらい回し」に象徴される救急医療のシステムダウンなど「医療崩壊の危機」が叫ばれています。ここまで来てやっと多くの人々に医療界の窮状が理解していただける情勢になったともいえます。おそまきながら平成20年度の診療報酬改定では、勤務医対策として、本体が0.38%の引き上げが認められましたが、勤務医の労働条件や本質的な病院医療の改善には充分とはいえない状況です。平成20年4月からの神奈川県保健医療計画では、がん、糖尿病、急性心筋梗塞、脳卒中などの疾患や救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療などの事業に二次医療圏内での病院と在宅診療施設や診療所とのネットワークで医療を提供する体制整備が要求されています。これぞまさしく当センターがこの5年間に取り組んできたものであり、厳しい環境の中でも地域から要請される機能を果たしていきたいと思えます。また4月から医療制度の改革で後期高齢者医療制度、特定健康診査、特定保健指導が開始されます。後期高齢者や勤労者、地域住民の方々にこれまで以上に予防医学部門の強化など幅広い医療の提供に努めます。さらに平成22年4月に7階建て510床の新病院での診療開始を予定されている当センターは、職員研修の充実と医師をはじめ新たな多くの職員を確保し医療現場でのサービス改善に努めます。また、これまでも「断らない病院」をモットーとして、小児科医師11名体制となる「小児救急拠点病院」など救急医療や地域医療に誠実に取り組み、「地域で選ばれる病院」になるべく努力してきました。結果として平成19年10月に地域医療支援病院として指定され、平成22年には横浜市南西部地域中核病院となります。平成20年度は神奈川県や横浜市の医療連携ネットワークに積極的に参加し、「患者様中心」、「地域完結型医療」、「チーム医療」、「情報公開」など当院がこれまで基本理念としてきたことをきちんと実践し、終局的な目的であり提供する「医療の安全と質」の向上に真正面から取り組みます。



高橋 俊毅 院長



# 就 任 挨 拶

## 夢の実現に向かって

看護部長 小西 洋子



小西 洋子 看護部長

平成20年4月より、新採用者47名と共に横浜医療センターの一員となりました小西です。前看護部長より引継ぎを受け、これからの横浜医療センターでの生活は体力勝負と実感しました。私のエネルギーの源は、多くの人との出会いです。今まで出会った人の教えは「決してあきらめない」「将来を見据えて言い続ける」「はっきり言ってくれる友人を持つこと」「誰も何も言ってくれなかったら成長なし」などでした。横浜医療センターでも出会いを大切に、多くの皆様からエネルギーを頂き、一日一日を大切に過ごして行きたいと思います。

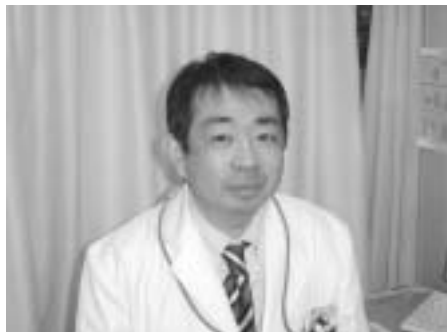
横浜医療センターは新棟建築・引越しに向けて「待ったなし」です。でも夢が現実になるプロセスは、誰でも経験できることではありません。このプロセスを楽しみながら限られた時間の中で、夢の実現に向かって、皆様と一緒に進みたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

## 就任のごあいさつ

皮膚科医長 高須 博

みなさま、こんにちは。前任の坪井廣美医師に代わり4月より皮膚科医長として就任した高須 博と申します。今年度の皮膚科は、新山奈々子医師も新たに赴任し、山本都美医師と合わせて3人で診療を行っています。私は以前北里大学病院に勤務し、主に悪性黒色腫などの皮膚の悪性腫瘍やダーモスコープ（皮膚の拡大鏡）を用いたほくろの良性悪性の鑑別、新山奈々子医師は膠原病の皮膚症状を専門としておりました。

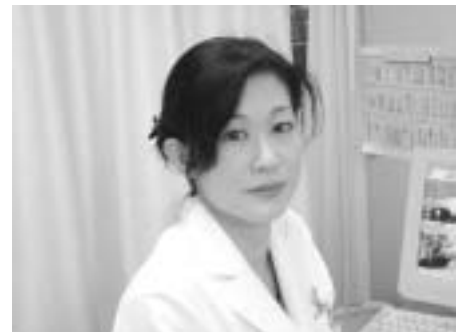
われわれは、皮膚は人体にとって最大にして重要な臓器と考えており、皮膚疾患全般にわたり診断から治療まで積極的に対応し、地域に根付いた診療を志しますのでよろしく御願いたします。



高須 博 皮膚科医長



新山 奈々子 皮膚科医師



山本 都美 皮膚科レジデント

# 地域医療連携 病診連携施設紹介 くれ医院

診療科目：内科・消化器内科・外科・皮膚科・肛門科

当院は東戸塚駅より徒歩で5分の距離にあるビルの2階にあります。

消化器内科を中心に内科、外科、皮膚科、肛門科で開業しています。同じビルには整形外科、眼科、歯科が開業しており、また、近隣には、皮膚科・外科・泌尿器科や、内科、内科・小児科、心療内科と多くの医院が、ひしめいています。

近隣の住民の皆さんは、新しく移転してきた方（東戸塚駅は昭和53年開業）が、多数を占め、比較的若い方と子供が多い町です、そして、東京にお勤めの方が多く、土曜と日曜日の受診希望



呉 宏幸 院長

が多く、夜間のニーズも多い場所です。また、医療機関に対しては、コンビニエンス・ストアのような要求をされる方や、色々な検診のデータを持参でこられる方が多いようです。開業して10年以上となり、患者さん達も“くれ”さんは、こんな医者(?)とそれなりに(?)評価をいただいているようで、忙しい毎日を過ごしています。スタッフも開業以来の方が多く、楽しく診療をしています。厚生労働省が求める医療の形が果たして、素晴らしいものなのか、甚だ疑問な所もありますが、少なくとも患者のためを考えた医療で、経済性を考えて試行錯誤を繰り返すのを診療所と病院が役割分担と相互に連絡しあう事は、患者さんにより良い医療を提供する一歩だと考えています。

昨近の医者不足の報道や医師に対するマスコミの報道ぶりをみると、行政の失敗をメディアを使って、医師側にふっている感じがします。臨終の場面や子供の苦しむ姿、患者さんの辛そうな表情を見ている医療人に対してやりすぎではないかと思う時があり、何かこちらに落ち度があるのかなと、思ったりする事もあります。より良い医療の形を求め、患者さんの為になるようにしたいと願っています。病院の大変さは、我々以上であり、こんな状況で、病院は続けていられるのだろうか、と思っています。我々にできることは、“連携”これしかないようで、引き続き、密に連絡していただける間柄でいられるようこれからも頑張りますのでよろしくお願ひします。



## くれ医院

〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区品濃町513-7清光ビル2F

TEL 045-826-0020 F A X 045-826-0002

診療時間 月・火・水・金 9:00~12:00 15:00~18:30  
土・第一日曜 9:00~12:30

休診日 木曜日、第2・3・4・5日曜日、祝日

## 地域医療連携室から

### 戸塚糖尿病ネットワーク地域連携施設との勉強会を開催して

看護師長 三崎 洋美



戸塚糖尿病ネットワークでは横浜医療センターと地域の診療所との病診連携を行っています。今回、病診連携施設の看護師の方々との交流を深め、糖尿病教育の更なる充実を図ることを目的に、平成20年1月31日14時から16時に当院にて勉強会を開催しました。当日は病診連携施設の11施設17名の看護師の方々に参加して頂きました。勉強会の内容は、1) 糖尿病チームケアユニットについて、2) 看護師の役割①生活指導②フットケア、3) 宇治原地域連携室長による特別講義「内分泌・代謝セミナー」、4) 意見交換会を行いました。終了後のアンケートでは、1) 教育入院の内容・クリティカルパスの資料を希望、2) 外来での指導内容を詳しく知りたい、3) 診療所で運動療法を検討しているのでプログラムを知りたい、等積極的な意見が聞かれました。情報交換や新たな取り組みの参加希望を受け、今後は定期的な勉強会の開催を計画しています。

### 退院時調整看護師養成研修を受講して

退院調整看護師長 竹山 洋子



関東信越ブロック主催の第1回退院調整看護師養成研修を受講しました。受講生は42名でH20年1月15日～3月7日の期間のうち、機構本部での5日間の講義と自施設での10日間の実習から退院調整の意義と実際のプロセスについて学びました。そして病院内における退院調整の中で最も大事なことは退院目標を患者家族と各医療担当で統一することであると理解しました。入院早期より退院後の課題について患者家族や地域の連携医、ケアマネージャー、訪問看護師、主治医、看護担当者、ソーシャルワーカー、リハビリ担当者等の関係者が合同カンファレンスを行い、退院目標を統一することが大変重要となります。

また実習では地域の訪問看護や老健施設、地域包括支援センターを見学し、地域のケア担当者ともっと顔の見える連携を進めていく必要性を痛感し、退院調整者の役割の重要性を学ぶことができました。



## 横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

### 西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長

045-851-2621 (代)

### 横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長

045-851-2621 (代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。



## お知らせコーナー

### 認定看護師による 公開講座のお知らせ

看護の日・看護週間行事  
横浜医療センター看護研究会 会長 永田 まみこ

5月12日は「看護の日」です。「看護の日」の由来は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、1965年から国際看護師協会が「国際看護師の日」に定めています。今年の看護週間は、5月11日(日)～5月17日(土)で、メインテーマは「看護の心をみんなの心に」です。

我が国においては、21世紀の高齢化社会を支えていくためには、《看護の心・ケアの心・助け合いの心》を、私たち一人一人が分かち合うことが必要で、こうした心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、1990年に制定され、現在では気軽に看護にふれていただける「看護の日」の行事が全国各地で行われます。

横浜医療センターでは、下記の日程で公開講座等を計画しております。日頃ご家族のがん性疼痛、感染や皮膚・排泄に関する専門的看護等の疑問に対応したいと思っておりますので、お出掛けください。

#### 記

日 時： 5月12日(月) 午後2時～  
場 所： 大会議室  
テーマ： 「痛みが身体におよぼす影響、  
          当院の緩和ケアチームについて」  
講 師： がん性疼痛看護認定看護師 村方 幸  
個別相談会：公開講座終了後 大会議室  
当院に勤務する3名の認定看護師が個別相談に対応します

また、多くの皆様に看護を知っていただけるよう、ナイチンゲール像の設置、看護の日のパンフレットの配布などを予定しています。

### 敷地内全面禁煙

患者様の健康を守る医療機関として喫煙・受動喫煙による健康被害を防ぐために、  
建物内、敷地内における全面禁煙を平成20年4月1日から実施しました。

患者様をはじめ、病院にご来院されます皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 新病院建築状況

事務部長 千田 隆夫

「新病院建築計画に伴う、横浜市市街地環境設計制度の審査が承認された」迄を前号でお知らせしました。現在、建築計画通知等の届け出を横浜市役所に提出中であり、この承認を受けて工事の着工となります。病院新築工事の公示・官報公告を3月28日、入札日を5月8日で実施しております。病院本体の工事期間が22箇月と厳しいことから、建築・設備・衛生・電気工事を全て一括工事で請負える業者で進めることとしております。仮設カルテ庫や仮設霊安室も完成し、現在、事前工事の給排水管やガス管、電線等の切り回し工事で不便をかけておりますが、ご理解をお願いします。今後、東6病棟への仮設渡り廊下の工事でもご協力願います。

## 平成20年度診療報酬改定について

経営企画室長 樋口 弥

平成20年度の診療報酬改定が厚生労働省より通知されました。

今回の改定は、診療報酬本体がプラス0.38%、薬価等がマイナス1.2%、全体ではマイナス0.82%であり、前回の改定であるマイナス3.16%ほどではないですが、医療機関にとってはやはり厳しい改定となりました。

改定の目玉は、医療提供体制の充実と質の向上がキーワードであり、特に「救急医療」、「地域連携」「産科・小児医療」、「精神医療」、「医師の負担軽減」を項目として取り上げ、これらに取り組んできた医療機関にとっては評価アップとなっております。

当院にとって主に関連する改定項目は、

- 救命救急センターにおける極早期治療の評価
- 超急性期脳卒中患者の薬剤投与にかかる評価
- 緊急の分娩対応体制を有するハイリスク妊娠管理の評価
- 脳卒中疾患における地域連携診療計画の取組に対する評価
- 精神疾患患者における身体合併症を有する医療提供体制の評価
- 医療機器安全管理に対する評価

が挙げられます。

これらの項目は、当院が従来から積極的に力を入れてきた「急性期病院としての医療の質の向上」が診療報酬として評価されたもので、これらの施設基準を取得できることで相応の評価を得られたという想いです。

その他では、分かりやすい診療報酬体系として「リハビリテーション料の見直し」や「1手術当たりの支払い方式の試行的導入(15歳未満の鼠径ヘルニア手術の包括化)」、生活を重視した医療提供として「糖尿病の重症予防化にかかる評価」、「外来迅速検体検査の算定要件の緩和」などが挙げられます。

また、当院が参入しているDPC制度(包括評価制度)においては、診断群分類の増加や入院化学療法で使用する高額薬剤の評価方法について見直しが行われました。

皆様には、正確かつ確実に診療報酬制度の情報提供に努めて参ります。

医療費についてご不明な点がございましたら、どうぞお気軽に医事課窓口でお尋ね下さい。

# 新採用職員オリエンテーション



新採用職員オリエンテーションの参加者

教育研修部長 椎名 丈城

平成20年度新採用者のオリエンテーションを看護部、1年次研修医、2年次研修医、専修医（国立病院機構の後期研修医）・レジデント・医師、コメディカルスタッフ等の5本のプログラムで行いました。今年度から附属横浜看護学校の教室が使用可能となり、余裕を持った運営が可能となりました。看護師・研修医の新人教育にもより一層力を入れて参ります

1年次臨床研修医 鈴木 智香子

未熟な面も多く迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、精一杯がんばります。よろしくお願ひします。

西3階病棟看護師 三戸森 悠人

私は横浜医療センターに就職し、今、希望とやる気に満ちています。看護の学びには終わりがな  
いと言われており、これから数々の壁にぶつかると思いますが、患者様のために全力を尽くしたい  
と考えています。そして確実に安全な援助と暖かい笑顔を提供できる理想の看護師像に少しずつ近  
付いていきたいと思っています。

西5階病棟看護師 植村 海衣

私は4月に急性期の看護を学ぶため鹿児島から横浜医療センターに就職しました。田舎から来た  
ので最初はやっていけるか不安でした。しかし、先輩たちのご指導をいただき少しずつ慣れてきまし  
た。持ち前の明るさと元気と笑顔を忘れず、患者様から慕われるような看護師を目指したいです。

管理課給与係 前原 竜也

ご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、日々精進いたしますのでよろしくお願ひします。



# 職 場 紹 介

●今回はリウマチ膠原病科の紹介です。

## リウマチ膠原病科

リウマチ膠原病科部長 曾我 隆義

皆様、こんにちは。

昨年4月にリウマチ膠原病科に赴任してきました曾我隆義と申します。

リウマチ、膠原病は、あまり聞きなれない言葉で、特にリウマチとはどんな病気であるかをすぐに理解することはむずかしいかもしれません。リウマチ性疾患の特徴は、たとえば肺炎なら「肺」という特定の臓器に限定されず、多くの場所に障害が起こってきます。すなわち、いろいろな病気の集合体とも言えます。症状も様々で、関節痛・腫れ、手指のこわばり、手指の色が白くなったり紫色になる、口がかわく、目がゴロゴロする、筋肉痛が続く、発熱が続く、などがあります。このような症状が続いているときは、当科の受診をお勧めします。現在、私と関口章子先生の二人で診療に従事しております。

当科は、院内および他病院との連携をはかり、これからもおごることなく患者さまのために精進していきたいと思っています。

皆様、どうぞよろしくお願いたします。



関口 章子 医師 曾我 隆義 部長（筆者）

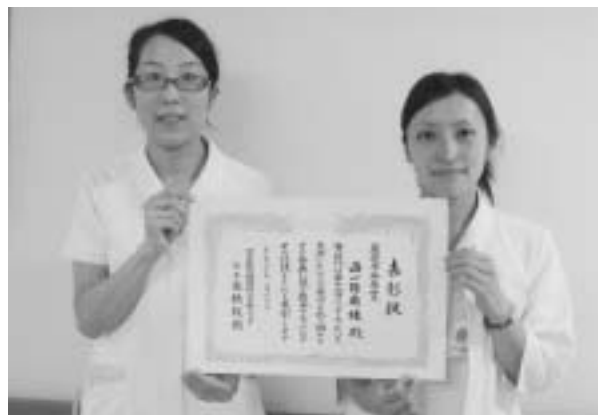
## 行事紹介

### クリティカルパス大会について

クリティカルパス委員長（整形外科部長） 日塔 寛昇

クリティカルパスというのは入院中の予定が記載されており、これを患者と医療者が共有することによって、円滑に診療を進めていこうとするものです。これを充実させるための取り組みとして平成20年1月17日に第12回クリティカルパス大会を院内で開催しました。

各病棟や外来から計12演題の発表があり、院長はじめ、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、栄養士、事務など院内の多職種の職員が参加して活発に討論が行われました。締めくくりに済生会若草病院外科部長の佐藤靖郎先生に地域連携クリティカルパスについて講演していただきました。これからもこれらの活動を通して、分かり易く、時代に即したクリティカルパスを作っていきたいと考えております。



☆最優秀発表賞☆

西1階病棟クリティカルパスチーム  
片山 いづみ 穴井 佑佳  
佐々木 真梨 林 聡美  
パス名「周産期地域連携クリティカルパス」

# 行事紹介

## 看護学校卒業式

看護学校第43回生 満畑 裕子

～卒業しました。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。～



卒業式の様子

私たち43回生は各々に「看護師になりたい!」という目標を持ち、看護学校に入学しました。学校では同じ目標を持った仲間とこれまでの人生の1番濃い日々を送りました。43回生のクラスメイトとの学校生活は3年間という短い期間でしたが、とてもいい関係を築けたと思います。実習を行っていくことで、どうしたら患者様にとっていい看護ができるのか悩んだこともありましたが、お互いに支えあって卒業まで辿り着くことができました。これからまた43回生はそれぞれの道に向かって進むことになりました。活動する場所は違っても、これからもよきアドバイ

ザー、同じ看護をする仲間として共に頑張っていきたいと思ひます。

今回たくさんの皆様方のご指導のおかげで、無事看護学校を卒業することができ、学校の先生方や、病棟のスタッフの皆様方に感謝しています。皆様方のサポートによって、実習を重ねていき、現在では入学時に漠然と思っていた「看護師」という仕事を現実的なものにでき、また、思い思ひの看護師像・看護観を持てるようになりました。

私たちは4月から看護師として働くことになりました。自分が描いていた夢が仕事になるということは幸せなことだと思います。この夢を叶えさせてくれた家族や、私たちを成長させてくださった患者様、支えてくださった全ての皆様方に感謝をしながら今後も初心を忘れないように看護学校で学んだことを土台にして、さらに看護を深め、よりよい看護が患者様に提供できるように励んでいきたいと思ひますので、温かい目で私たちの成長を見守ってください。

## 病理解剖慰霊祭

臨床検査科部長・病理医 新野 史

病理解剖慰霊祭が2月28日、横浜医療センター内にて行われました。当センターが独立行政法人化されてから昨年内までに病理解剖をさせて頂いた58名の方々の慰霊祭となります。当日は22家族、41名のご遺族にご出席を願うことができました。病理解剖は、入院されていた患者さんが不幸にも亡くなられた時に、生前の診断は的確であったのか、治療の効果は如何であったか等の医学的な探究のため、ご遺族の承諾をいただいたうえで病理医が行う検査です。

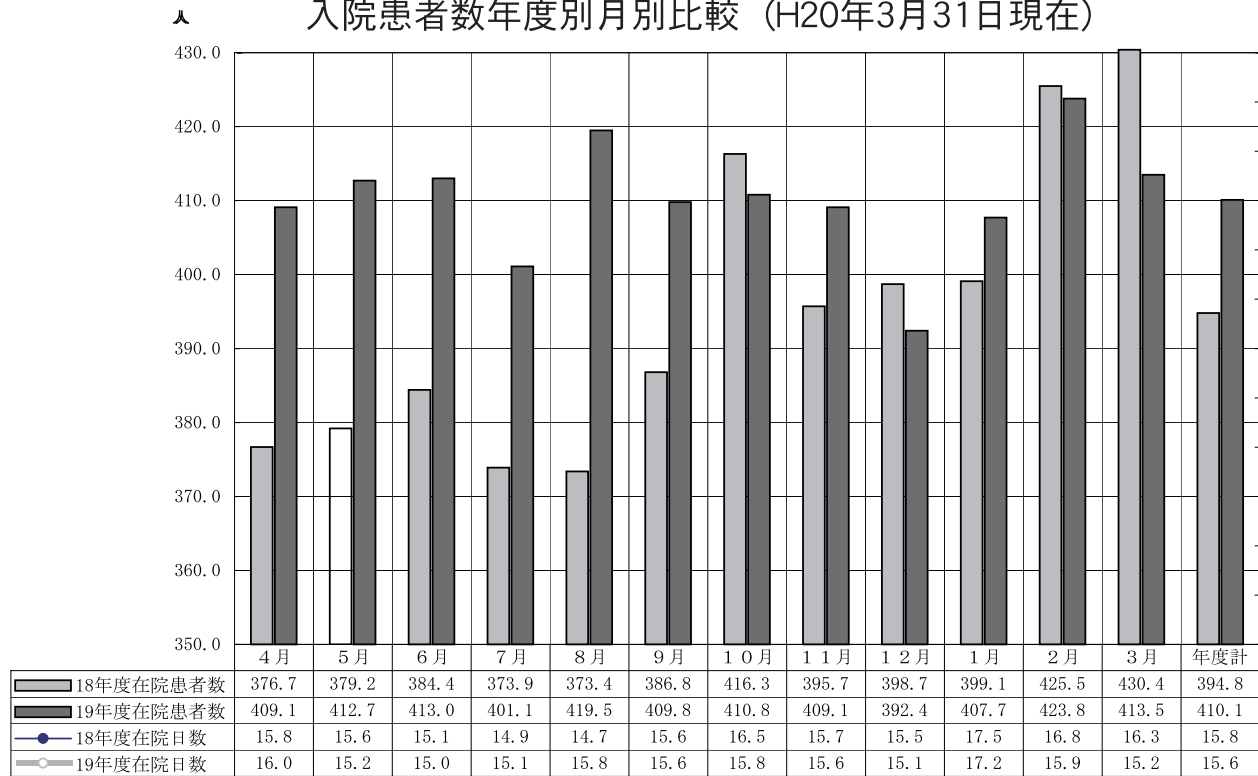
慰霊祭では、ご遺霊の前でご遺族にお会いし、お言葉を頂戴することによって、病理解剖により究明できた多くのことを無駄にはしないという決意を新たにしました。ありがとうございました。



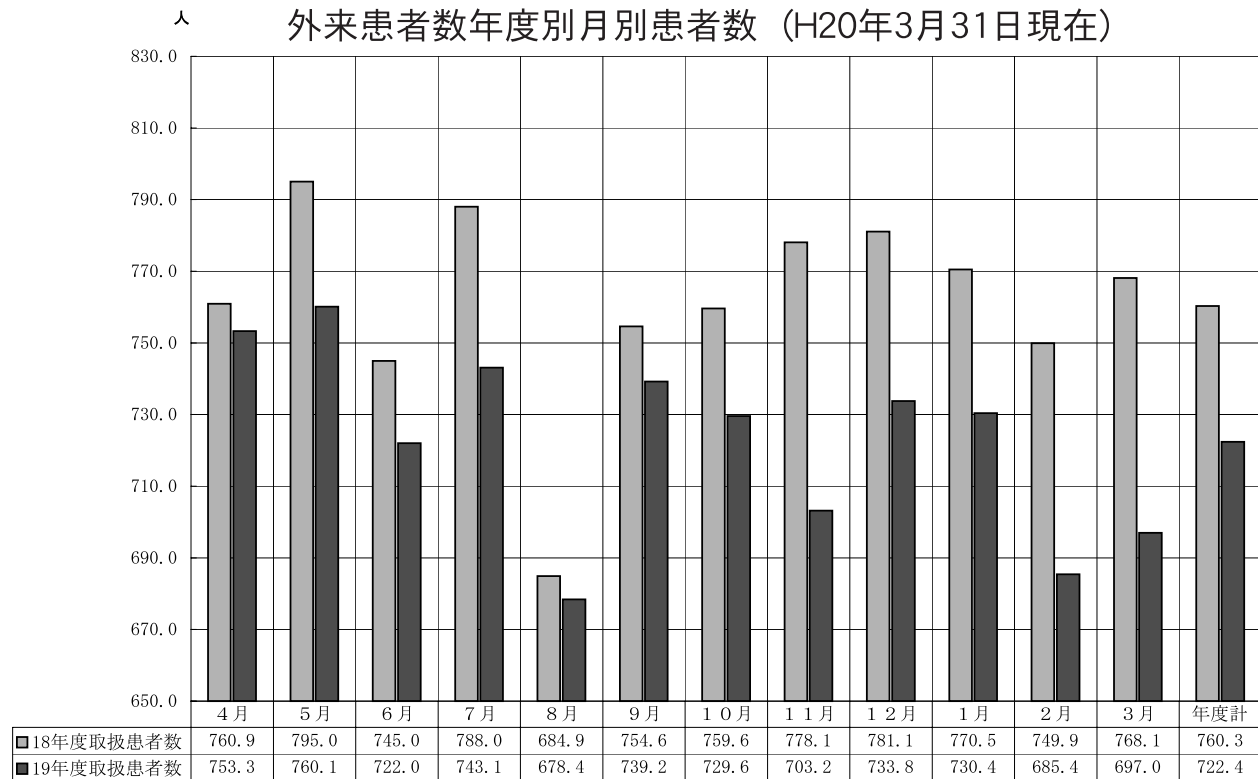
解剖慰霊祭の様子

# 患者数の動向 ～1日平均～

入院患者数年度別月別比較 (H20年3月31日現在)



外来患者数年度別月別患者数 (H20年3月31日現在)



## 編集後記

桜の花も散り新緑が芽生え、各職場とも別れと出会いで新体制として職務に取り組み始めたことと思います。巻頭表紙にあります新病院完成イメージ図のように、病院本体工事の入札がいよいよ5月8日に迫り、工事期間22ヶ月で病院本体が完成することになり、着工から完成まで待ち遠しくもあり又それまでの行程でいろいろな準備等多難ではありますが、職員一丸となりこの一大事業を完成させましょう。

業務班長 長澤 俊視



診療科・曜日		月	火	水	木	金	備考
内科	総合内科	第1・3週消化器 第2・4週循環器 第5週神経内科	第1・3週 須澤直木 第2・4週 高木佐知子	呼吸器	関口 章子	曾我 隆義	△:午後1:00～2:00(受付時間)紹介状持参の方のみ
	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	川原 智子	須澤 直木	宇治原 誠	注 宇治原 誠(予約のみ)	注 糖尿病内分泌内科・金曜日(第2・3・4週のみ)
	神経内科	上木 英人	△高橋 竜哉	検査日	遠藤 雅直	検査日	▲:紹介状持参の方のみ
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	椿原 基史	消化器科 月・火午前は新患・急患・紹介のみ、火曜日交代医師 1・3・5週小松 2・4週松島
	消化器内科	交代医師	交代医師	松島 昭三	神津 知永	小松 達司	■:午後予約のみ
	循環器科	巽 藤緒	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)巽
リウマチ膠原病科	加藤 文二	ヘースメーカー外来					
心療内科	曾我 隆義	検査日	検査日	■曾我 隆義	■関口 章子		
精神科	検査日	成田 堀	武川 吉和	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ火曜日>奇数週(一般心身症)成田・偶数日(女性心身症)堀<水曜日>(一般・小児心身症)武川
小児科	山口 隆之	武川 吉和	山口 隆之	成田 博之	武川 吉和		※月～金;新患受付は10時まで受付可です。(要紹介状、1日2名の予約制) 但し、当該医師以外の医師が診察いたします。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	樋木 陽一	菅井 和子	菅井 和子	樋木 陽一	小林 慈典		
外科	鈴木 健	大山 宜孝 注②	和田 芳雅 注③	長濱 晶子	藤塚 麻子		注②第1週 小林 注③第5週 塩谷
	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎		◆高橋 俊毅		注①第1週 塩谷 第4週 鈴木
乳腺外科	交代医師	◎土井 卓子		◎土井 卓子	◆山本 俊郎		◆:完全予約制
呼吸器外科					坂本 和裕 山仲 一輝		◎:乳腺外来(火・木)完全予約制
整形外科	国府 秀俊	日塔 寛昇	国府 秀俊	日塔 寛昇	日塔 寛昇		ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。
	小椋 研	国府 秀俊	河井 卓也	小椋 研	小椋 研		(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00
形成外科	河井 卓也	氷見 和巳	氷見 和巳	氷見 和巳	岩本 直之		
脳神経外科	高瀬 税		口高瀬 税	高瀬 税	高瀬 税		□:手術日のため午前のみ
	急患のみ (手術日)	▲ 交代医師 ※(脳ドック)	向原 茂雄 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)		▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM1:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください
心臓血管外科	盆子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文		木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
皮膚科	高須 博	山本 都美	高須 博	高須 博	高須 博		
	山本 都美	新山 奈々子	山本 都美	新山 奈々子	山本 都美		
泌尿器科	新山 奈々子				新山 奈々子		
産婦人科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康		
	向田 一憲	小笠原 良治	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦		
眼科	窪田 与志	斎藤 要	小笠原 良治	中村 秋彦	向田 一憲		
耳鼻咽喉科	清水 康平	手術日	清水 康平	清水 康平	手術日		(受付)初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30～10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～9:30
放射線科	岡部 智子		清水 康平	岡部 智子			(受付)初診・予約外再診とも 月～木8:30～10:00まで
歯科口腔外科	栗原 須生美 注④		榎多 政治 注⑤				※注④月曜日13:30～15:30【予約は内線4307まで】【完全予約】 ※注⑤水曜日9:00～11:00【完全予約制】
	塩入 重彰(再診のみ)	塩入 / 大槻 (午前初診・午後再診)	手術日	塩入 / 大槻 (午前初診・午後再診)	塩入重彰(再診のみ) 大槻伸江(再診のみ)		初診は、火・木曜日8:30～10:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。
専門外来 (午後のみ)	アレルギー(鈴木・菅井)	腎(長濱)※第1・3週	アレルギー(交代制)	乳児検診(交代医師)	循環器(鈴木)※第3以外 予防接種(交代医師)		
	アレルギー検査(交代医師)	アレルギー(鈴木)	アレルギー(菅井)	アレルギー検査(交代医師)	アレルギー検査(交代医師)		
		感染免疫(小林)第2・4週	アレルギー検査(交代医師)	フォローアップ外来(小児)	神経(大山)※第3のみ		
	横浜市乳がん検診 ※注⑥	癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来			※注⑥横浜市乳がん検診の受付:14:00～16:00乳がん検診
	スポーツ整形外科	※注⑦	スキンケア外来 ※第2・4週				※注⑦担当医:【国府・小椋】 毎週15:00～16:00
産婦	母親教室	助産師外来 ※注⑧ 母乳外来				※注⑧7月より開設 第2・4週	
循環		ヘースメーカー外来 ※注⑨				※注⑨ 第1・3・5週【加藤】 第2週【巽】	

初診受付: 平日 8:30～10:00  
再診(予約外)受付: 平日 8:30～10:00  
休診日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日  
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。  
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)  
TEL 045-851-2621 (時間外・土・日・祝日)  
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

